



福岡県公立高校入試【社会・歴史大問 1】完全攻略プリント⑤

～15 年間（2012～2026 年）の出題データから導く「歴史大問 1 時代ラベル判定 & 選択肢消去ドリル」～

【冒頭 1 分要約：15 年分析が導いた結論】

【結論】選択肢問題では、知識の有無だけでなく「時代枠」を意識して選択肢を整理することが重要である。

2012～2026 年度の 15 年間の出題データを分析すると、大問 1 の選択肢問題には以下の特徴が確認できる。

1. 15 年連続の通史導入資料：過去 15 年（15/15 年度）すべてにおいて、大問冒頭に複数時代を鳥瞰する資料（対照表・カード・ノート＋年表）が配置され、各小問の時代枠を把握する手掛かりとなっている。
2. 誤答肢の構造的特徴：4 択問題では、「別の時代の正しい歴史事実」を含む誤答選択肢が複数確認できる。
3. 2 段階消去の有効性：選択肢をいきなり精読せず、「第 1 段階：時代ラベルによるマクロ消去」→「第 2 段階：残った選択肢の内容照合（ミクロ判定）」の順で処理することで、不要な検討を減らし、残った選択肢へ確認を集中できるようになる。

★ 選択肢をいきなり精読するな。まず冒頭資料で「時代枠」を固定し、重要語句から時代違いの選択肢をふるい落とせ。

第 1 章：15 年間の出題データと冒頭資料の役割

1. 15 年間の出題データから確認された客観的事実

・通史導入資料の配置：2012～2026 年度の 15 年度すべてで、大問冒頭に複数時代を鳥瞰する導入資料（対照表、カード、ノート＋年表）が置かれている。

・小問と時代枠の連動：大問 1 に配置される各小問は、冒頭資料の時代区分（古代・中世・近世・近代など）に沿って展開する形式が複数確認できる。

2. 時代区分ラベルの 5 分類（本教材の統一基準）

本教材では、選択肢の時代判定を正確に行うため、以下の 5 つの時代ラベルを使用する。

- 古：原始・古代（旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安）
- 中：中世（鎌倉・室町）
- 近：近世（安土桃山・江戸・幕末）
- 代：近代（明治・大正・昭和戦前）
- 現：現代（昭和戦後・平成・令和）

※ペリー来航から大政奉還までの「幕末」は、江戸幕府の枠組みの終焉として「近世」に含める。明治維新以降を「近代」、太平洋戦争の敗戦以降を「現代」と区分する。

第2章：時代ラベル判定と2段階選択肢消去の「解法ロジック」

手順1：冒頭資料による「設問の時代枠」の確定

問題文の下線部や空欄を見たら、まず大問冒頭の表やカードを参照し、その小問が属する「時代枠（古／中／近／代／現）」を特定する。

手順2：選択肢への「時代ラベル付与」（第1段階：マクロ判定）

選択肢ア～エの文章を精読する前に、文中の重要語句（人物名・制度名・事象名など）に着目し、各選択肢の余白に時代ラベルをメモする。

設問の時代枠と一致しない選択肢は、文章の内容が歴史的事実として正しくても即座に消去（×）する。

手順3：同一時代内の「内容照合」（第2段階：ミクロ判定）

時代消去を行った結果、同一時代の選択肢が残った場合（または2択に絞られた場合）に初めて文章を精読する。

主語・述語・因果関係・固有名詞の組み合わせが教科書知識と整合しているかを精密に確認し、正答を決定する。

第3章：実戦定着ドリル

【ウォーミングアップ：時代ラベル判定スピード仕分け50】

次の各項目（人物・制度・事象・文化など）が属する時代として最も適切なものを、下の【記号】から選び、空欄に書き込め。

【記号】 古：原始・古代 中：中世 近：近世 代：近代 現：現代

【人物】

01. 聖徳太子（厩戸皇子） [] 02. 源頼朝 [] 03. 徳川家康 []
04. 伊藤博文 [] 05. 聖武天皇 [] 06. 北条泰時 [] 07. 豊臣秀吉 []
08. 板垣退助 [] 09. 桓武天皇 [] 10. 足利義満 [] 11. 徳川吉宗 []
12. 陸奥宗光 [] 13. 藤原道長 [] 14. 足利義政 [] 15. 松平定信 []

【政治・制度・法制】

16. 冠位十二階 [] 17. 守護・地頭の設置 [] 18. 武家諸法度 []
19. 廃藩置県 [] 20. 大宝律令 [] 21. 御成敗式目 [] 22. 参勤交代 []
23. 地租改正 [] 24. 墾田永年私財法 [] 25. 建武の新政 []
26. 慶安の御触書 [] 27. 大日本帝国憲法 [] 28. 班田収授法 []
29. 徳政令（永仁） [] 30. 公事方御定書 []